



ぼらんていあ通信

4月号
通巻 No.449

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2019年4月23日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamivainfo/>



人生90年です！とパワーポイントで説明する安藤さん



活動の基本となるポイントが「自助・共助・公助」の3つにあるという。

講師 一般社団法人安藤正画
終活コンサルタント
安藤 智文氏
「自ららしく生きるために」
高橋 賢氏
「現行の相続税法等とその対策」
この春のボランティア養成講座のテーマは「終活」。3月19日(火)午後2時から4時まで、おださがプラザにて開催された。終活コンサルタントのお二人、安藤企画の安藤さんと高橋さんを講師に迎え「終活」についてのお話を伺った。
終活とは「日本人女性の平均寿命が86.26歳となった今、人生90年と言われても違和感はない。後半期をより有意義に暮らすため、また仕事をリタイアした後の生活をより充実したセカンドライフとして捉えて活動をする事」。

春講座 終活セミナー

「人生のエンディングを考え、これからを豊かに生きる」



- 「自助」・・・自立の精神で自分を守る
①1冊のエンディングノートを書く
②自分の歴史を書く、相続のこと、お墓のこと、介護のことなど
③終の棲家のリフォームと断捨離
④加齢による事故を防ぐために、トイレや風呂場の扉を外開きにする、手すりを設置
⑤要らないものを処分、身の回りの整理
「共助」・・・周りの助けを借り、また余暇をボランティアとして豊かに過ごす
①少子高齢化となり、また寿命が延びたことにより一人暮らしとなる高齢者が増加、周りの助けが必要
②余暇を元気に過ごす選択としてのボランティア活動
「公助」・・・自治体のサービスを受ける、弁護士、税理士との連携の必要性が生じたとき利用する
①相続税に関する対策や申告は税理士
②法律上の問題が生じたときには弁護士
③その他のさまざまな専門家(司法書士等)
④成年後見制度(法定後見制度、任意後見制度)



相続税対策について語る高橋さん



安藤氏の終活の概要を伺ったあと、次は控除に該当する相続税法の改正とその対策などについて高橋氏の話が続き、「相続」の注意点として「争続」に陥らないようにするために遺言書の準備、遺産の分割等が必要と説かれた。

講座の終わりにボランティア協会と中央ボランティアセンターの寒河江さんから受講者の皆さんへボランティア活動の勧めがあった。元気なうちに人生の身仕舞いをする、場合によっては終活コンサルタントのヘルプも必要な時もあると分かった。困ったときは相談出来そう。物が捨てられないのは誰にとっても共通の悩み。お話の中に興味深いベストテンがあったので紹介。

「捨てられないモノベスト10」の一部
10位 本、9位 引出物、7位 コンビニ弁当
についてくる割箸、プラスチックのスプーンやフォーク、6位 年賀状や手紙、3位 紙袋、2位 縫いぐるみ、1位 になったのは服類。

終活は自分のためであるが、むしろ残して行く家族のためでもある。そう思えばせつせと終活に励むことができるのではないかな。

1年前に買った「星の王子さま」のエンディングノート」の白いページを前にして思う。書き始めはまず1頁目の「私のプロフィール」から。(植野・小林)



大募集!

パレードに参加しよう!

相模原市民若葉まつりでは、当協会もハンディキャブ号2台とセダン車を伴いパレードに参加しPR活動を行います。

日時：令和元年5月12日(日)

午前10:30集合

集合場所：16号線から1本市役所寄りの道路

多くの会員の皆様の参加をお願いします。



通常総会の案内

二〇一九年度の通常総会を次の通り開催します。

開催通知と議案書は後日お届けしますが、ご出席いただきありがとうございます。

日時 5月19日(日) 午後2時~4時

会場 あじさい会館3階研修室

議事 ①事業報告 ②会計報告 ③役員

選任 ④定款変更 ⑤会費の件

⑥事業計画案 ⑦予算案

※年に一度の大切な総会です。是非ご出席ください。

理事一同

Twitter

ほらんていあ通信版 ツイッターコーナー

私の人生

中村 義春



私の人生、骨折人生。さあお代はいらないよ、つまらなかつたら読まなくても良いよ、興味があったら読んでね。

最初の骨折は小学5年生。飛び箱で転倒して右肩(鎖骨)を骨折。治ったと思って、自宅近くで友達と遊んでいて転んで、又同じ所を骨折。中学2年の時は鉄棒で右腕を骨折。中学3年の時はスケートで右腕を骨折。大学卒業後、航空自衛隊に入隊し、3か月目で左肩を骨折。それで進路が変更になり、美保基地の輸送機部隊に配属。輸送機の搭乗員として1年間搭乗し、エアーマスターとして活躍。これが私の人生の中では良かったと思っている。自衛隊で陸上競技の1級を取得。走り幅跳びに自信があったので、ある時、江の島の岩場を歩いて一周しようと思いついた。ただし最初に難関があり、洞窟がある幅5メートル以上の崖を走って飛んだが、岩に着いていた藻で滑って海の中に落ち、手の指と歯を折り、その歯が下唇を貫通。

自力で這い上がった車で帰宅。その途中、いつもお世話になっている病院へ直行、すぐ手術。まあこんな具合、47歳になった時、サイクリング車で転倒、左ヒジが骨折で取れてしまった。その他今まで肋骨は10力以上。

どうでしたか、私の骨折人生。足を折ったらもう寝たきりになりそうな年齢。少しの段差でもつ

4月の記念日は?

小倉義男

5月9日は、アイスクリームの日。

1964年のこの日に東京アイスクリーム協会が記念事業を行い、諸施設へアイスクリームをプレゼントしたことから、アイスクリームの日だそうです。翌年から「アイスクリームの日」として、各種のイベントを実施するようになり、社団法人日本アイスクリーム協会が1965年に制定。5月になると、天気も良く、結構暑くなる日があり、そんな時はアイスクリーム食べたくなりますね。(^^)

小倉画



クイズに挑戦

難読動物クイズです。次の動物は何でしょう?



- ① 豹 ② 絡新婦 ③ 駱駝 ④ 鼬(鼬鼠)
- ⑤ 驢馬 ⑥ 縞馬 ⑦ 鴨嘴 ⑧ 熊貓 ⑨ 猯
- ⑩ 海驢 ⑪ 蝙蝠 ⑫ 子守熊 ⑬ 狒狒

まずく私、気をつけよう、この先の人生。ちなみに現在71歳になって、富士スピードウェイで、サーキット走行をしています。最後まで御清聴ありがとうございました。

ちなみに骨折しないために牛乳を飲み、筋肉をつける骨は折れにくいそうです。毎朝、腕立て伏せ200回以上、背筋100回以上、自分独特の腹筋は200回程頑張っています。これらとても良いです。

ボランティア活動グループ訪問記

オヤマシマ



満開の桜の下、西門エこにマーケットに「さがみはらリサイクル連絡会」が参加

市役所通りの桜が満開です。西門へ向かうバスの窓からカメフラ片手に散歩の人が大勢見えます。3月30(土)・31(日)の2日間、特定非営利活動法人さがみはら環境活動ネットワーク会議が主催する「西門エこにマーケット」が初めて開かれ、「さがみはらリサイクル連絡会」が参加しました。会場は西門グリーンプラザバス停止面の店舗で、店頭には東日本大震災復興支援の大きな昇り旗が風にひらめいています。

店内は復興支援活動を行っているボランティアグループ「青い鳥」の布ぞうりや手作り小物、大船渡の方たちが作った手芸品、わかめやさしあめの販売もあり、入口近くでは子どもたちが石けんを粘土細工のようにこねて作る「こねこね石けん作り」のワークショップ。何ができるの?と聞いたら「こねこ」と答えてくれた女の子。耳がぴんと立った白うさぎが完成。

リサイクル連絡会(私も会員の一人)のテーブルではメインの活動であるダンボールコンポスト(別



会員が持ちよった手作り小物

(記)の実物

を展示し関心を持たれた方に作り方の説明をしました。



店頭(歩道)に並べられた「西門エこにマーケット」の手作り品

会員が持ち寄った手作り品と家庭で眠っていた小物類もリサイクルバザーとして販売。選挙カーも走り、歩道は和太鼓の演奏あり、路上ライブあり食べ物の屋台も出て昼から夜はにぎやかでした。

さがみはらリサイクル連絡会は公民館で環境問題の学習やリサイクル活動を行っているグループが集まっています。平成3年に設立されました。現在の代表者は内山尚美さんです。最初は市役所の協力を得て市内の公民館15ヶ所に牛乳パックの回収ボックスを置いてもらい月1回古紙回収業者に売り渡しトイレットペーパーなどの資源にする活動を始めました。この活動は市がごみ収集拠点で資源回収をすることにつながりました。平成21年には市資源循環課の生ごみ堆肥化の活動をしている市民に対する助成制度「有機性資源活動事業補助金」(現在の生ごみ4R推進活動補助金)を立ち上げ、ダンボールコンポスト講座の講師を派遣する相模原市生ごみ4R市民アドバイザー派遣制度(学習会を各区分で開催)を実現しました。また市民校まつり(今年は若葉まつり)、さがみはら環境まつり、相模原リサイクルフェアに参加し市民への広報活動も行っています。

若葉まつりでは市役所駐車場2階で「ゴミや資源に対



さがみはらリサイクル連絡会

代表 内山尚美

電話 042-751-7856



生ごみを土に還すダンボールコンポストの作り方。箱の中には実物が入っています

クイズの答え

- ① ヒヨウ ② ショロウグモ ③ ラクダ
- ④ イタチ ⑤ ロバ ⑥ シマウマ
- ⑦ カモノハシ ⑧ パンダ ⑨ バク
- ⑩ アシカ ⑪ コウモリ ⑫ コアラ ⑬ ヒメ



出張で本格的なハンドドリップ珈琲と笑いを皆さんにお届けします。



気さくなマスターとハンサムなバイト君です。



と・ある施設で漫才を披露している様子。

「出張ミヤタ珈琲」へのご依頼は、

中央ボランティアセンター

TEL : 042-786-6181

出張ミヤタ珈琲は、中央区相生にある「社会福祉法人アトリエ」の地域貢献事業への取り組み、且つ障がい者理解促進事業の一環としての活動です。

◆相模原市就職支援センターの設置経緯と概要

平成16年3月の職業安定法改正に伴い、自治体においても無料職業紹介事業が可能となりました。相模原市は、厳しい雇用情勢の改善を図るため、平成17年7月に相模原市就職支援センターを開設し、就労支援を始めました。弊社は、相模原市就職支援センターの開所から現在に至るまで、その管理運営業務や無料職業紹介事業を、相模原市への企画提案・選考を経て、受託しております。

◆相模原市における就労支援事業の取組

弊社の相模原市における使命は、人と生活、人と人、人と社会をマッチングすることであると考えております。時代の変動に伴う様々な社会課題を背景とした、求職者のみなさまの複合的な課題に共に向かい合いながら、一般の職業紹介にとどまらず、生活保護受給者や生活困窮者の自立支援事業に併せ就労訓練、保育士等人材確保など他制度や関係者と連携することで、就業に限らず社会参加の機会も多く創出し、地域が共に成長する事業展開を目指しています。

相談者に社会参加の意欲を持ち「働く」ことへの自信を深めるまで、市内事業所・相模原市社会福祉協議会などの関係機関・西門商店街・ボランティア団体や市民の皆様から頂いてきたご支援により、相談者だけでなく弊社の従事者も成長する機会となっていることを実感しております。この場を借りて関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

少子高齢化社会が進み、女性や高齢者などへの就労支援がますます重要になると感じています。これまでの弊社の経験と関係機関等との連携をベースに、職業紹介にとどまらず定着支援を継続する等、長期プランの就労支援に邁進して参りますので、「働く」ことをお考えの方は、ぜひ相模原市就職支援センターをご活用ください。今後ともよろしくお願い致します！



久保田啓仁さん

相模原市で活躍する会社紹介
パーソル・テンプ・スタッフ株式会社
相模原市の無料職業紹介事業受託事業者

相模原市就職支援センター管理者

久保田 啓仁さん

◆相模原市就職支援センターについて

〒252-0143 緑区橋本 6-2-1

シティ・プラザはしもと 6 階

開所日：月曜日～金曜日、第2・4土曜日

(祝日・年末年始を除く)

開所時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時

電話：042-700-1618

FAX：042-700-1704

Mail：shushokushien@sagamihara-city.jp

ホームページ：

<http://www.sagamihara-city.jp/shushoku/>

ほっこりな♡ぼらんていあ(19)
出張ミヤタ珈琲



その他にも。1日3杯以上のむと、ガン予防になるそうです。珈琲は、美味しいだけではなく、健康にもとてもいい飲み物です。

●これまでの実績は？

マスター…地域で活動しているボランティアさん達の会議に出張して、珈琲をサービスしたり、障がい者施設に出張したりしています。

今年は、市役所や認知症カフェでも珈琲サービスの依頼が来ています！他にもいろいろなどところへ出張していきたいです！

●出張ミヤタ珈琲ってなんですか？

マスター…僕、宮田が電話一本で、出張します！一つ一つ丁寧にハンドドリップして新鮮な美味しい珈琲をお届けします。

●珈琲の魅力とは？

マスター…深煎りの新鮮な珈琲をのむと、認知症予防になると言われています。(認知症ネットよ！)

<https://info.ninchisho.net/archives/31115>

イベント情報

再掲

視覚障がい援助ボランティア入門講座

日時：五月十日(金)～三十一日(金)

毎週金曜日午後一時半～午後三時半

場所：神奈川県ライトセンター

(横浜市旭区二俣川一の八十の二)

内容：

視覚障がい者の状況、ライトセンター事業について、点字の概要、視覚障がい者への接し方、視覚障がい援助ボランティア活動についてなど

定員：六十名(最小催行五名)

申込：

「第2回視覚障がい援助ボランティア入門講座希望」と明記のうえ、

①住所 ②氏名(フリガナ) ③電話番号

④年齢を記入し、

FAX・メール・往復ハガキのいずれか

の方法で申し込み。

FAX：045・364・0027

メール：kouza@kanagawalc.org

住所：〒241-8585 横浜市旭区二俣川

一の八十の二 神奈川県ライトセンター

情報提供課 講座担当あて

問合せ先：

神奈川県ライトセンター情報提供課

講座担当

電話：045・364・0024

こども家族早期発達支援学会認定
発達サポーター講座(基礎a)

日時：五月二十五日(土) 午後二時～四時

場所：総合学習センター

(中央区中央三の十二の十)

内容：障がい特性の理解(自閉症の感覚と支援方法)

講師：星山麻木氏

(ほしやまあさき)

(明星大学教育学部教育学科教授)

参加費：二千五百円(当日受付にて支払い)

申込：電話・メール・

LINE公式アカウントから、

電話：090・2320・5409

メール：rainbows.sagam@gmail.com

LINE：

QRコードを読み取り

問合せ先：れいんぼうず

代表 村崎 幸恵

(090・2320・5409)



ボランティア協会5月の予定

日	時間	内容
6(月)	13時半	新役員顔合せ
11(土)		黄色いレシート キャンペーン
11(土)	12時	若葉まつり
12(日)	10時	
18(土)	10時	HC 委員会
19(日)	14時 16時頃	総会 理事会(引継ぎ)
25(土)	13時	事務局委員会
27(月)	13時	ぼら通印刷
28(火)	13時	ぼら通発送

総会は5月19日14時から、あじさい会館3階研修室での開催です。

理事会報告

四月三日(水)十三時半から(理事七名出席)

一、報告事項

◆広報委員会

・ぼら通は六月より八頁を六頁にする予定。

・ホームページのトップクスを変更掲載した。

・わくわくは、四月二〇日に印刷・発行。

◆ハンディキャブ委員会

・十一号車にカーナビとドライブレコーダーを設置。

・定年者に感謝状と粗品を贈呈する。

◆事務局委員会

・事務局員への委嘱状交付を実施。

◆講座検討委員会

・来年度基礎講座は、七月六、十三、二十日に開催を決定。講師依頼を済ませた。

・コース別講座は録音奉仕、外出援助、点訳、翻訳、高齢者支援、傾聴、ハンディキャブが参加。

◆傾聴委員会

・月二回実施希望の方があり、受け入れた。

二、審議事項

・総会、二〇一八年度事業報告案、二〇一九年度事業計画案、予算案の検討を行った。

・総会準備日程の確認を行った。

・新役員予定者との顔合わせを五月六日に実施する。

次の理事会は臨時理事会(理事六名出席)で四月十七日(水)に開催し、総会の内容確認を行った。五月の理事会は十九日の総会終了後に開催する。

市社協事業紹介 (その13)

桜の花も散り、若葉が楽しい季節になってきました。ボランティア協会の皆さま、お変わりありませんでしょうか？まもなく元号が変わります。昭和生まれの私も、三つの元号を経験することになりました。浮かれることなく地道に反省し、新しい時代を希望を持って迎えたいと思います。

さて、「みんなで支え合い 地域力が育む人にならないうち さがみはら」のスローガンのもと、市社協の活動や歴史などを紹介しておりますが、今号では本会の活動指針を示す「市社会福祉協議会 地域福祉活動計画」について触れたいと思います。

相模原市地域福祉計画とは？

社会福祉法第107条により相模原市は「地域福祉計画」を定め、本市における地域福祉の推進方策を示しています。市には「高齢者保健福祉計画」、「障害者福祉計画」、「子ども・子育て支援事業計画」、「保健医療計画」といった保健福祉に係る分野別計画がありますが、「地域福祉計画」はこれらの分野別計画を地域という視点で捉えなおし、各部門に横断的にかかわる住民の福祉活動を推進するための仕組みづくり等を定めた行政計画です。

現在の計画は第3期（計画期間平成二十七年（三十一年度）となりますが、第1期計画は平成十七年度から始まっています。福祉「ミニ」形成事業もこの計画により同年スタートしたものです。

相模原市社協地域福祉活動計画とは？

一方、社会福祉協議会はその性格を①地域における住民組織と公私の社会福祉事業関係者により構成され、②住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指し、③住民の福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連携調整及び事業の企画・実施などを行う、④市区町村、都道府県・指定都市、全国を結ぶ公共性と自主性を有する民間組織である。と「新・社会福祉協議会基本要項」に自ら定めています。このことを具現化するため、市社協では本会の会員や社会福祉関係団体、地域福祉実践者等の意見をもとに「地域福祉活動計画」を定め、日々の事業展開に取り組んでいます。

本会の「地域福祉活動計画」の策定の歴史は早く、昭和五十七年一月には「相模原市社会福祉協議会の取り組むべき事業について（第1次計画）」がスタートしており、現在は「第8次相模原市社協地域福祉活動計画 みんないいひと ネットワークプラン」（計画期間平成二十七年（三十一年度）の最終年となっています）

両計画の関係性とは？

両計画に共通するテーマは「地域福祉」であり、地域福祉の主役を「住民主体の福祉活動」としている点に注目する必要があります。

（こ）という住民主体の福祉活動には、地区社協、自治会、民生委員児童委員等の地縁組織が取り組む活動だけではなく、地域に活動の拠点を置いている各分野の社会福祉法人や様々な福祉事業者、ボランティアやNPOとして福祉活動を進める人々、また、高齢者や障がいのある方、子育ての当事者など多くの人々が関係している福祉的取り組みがすべて含まれています。もちろん、皆様ボランティア協会の取り組みもこの枠組みに入り、協会員お一人お一人の活動が重要な一つとしてとらえられています。

これらの活動が発展していくために、両計画の整合性が確保されていることは当然のことです。住民主体の福祉活動、市社協、行政の役割分担と協働体制、支援の在り方等について、両計画は具体的指針、取り組むべき事業等を示しているものです。

新たな計画策定に向けて!!

孤立・孤独、生活困窮、虐待など今日的な福祉課題はますます深化し、見えづらくなっています。両計画の実施期間は本年度が最終年となっており、現在、新たな計画（次期計画）の策定が進んでいます。福祉課題の解決は生活保障の問題ともリンクするため、一義的には行政責任が問われますが、それだけでは「誰もが安心して暮らせるまちづくり」は出来ません。つながりのあるあたたかな地域づくりのために、新しい元号のもとで皆様と一体となって努力したいと思います。

市社協 田所

理事のつぶやき

第四十三次訪中国に参加して

町田 紘一



昨年11月相模原市日中交流協会主催の第43次訪中国(川合団長、浦上秘書長他12名)に参加しました。海外の体験は仕事でネパール、香港、タイなど何度出かけ、また車いす関係の団体ツアーでオーストラリアへ。また家内との旅で台湾、ハワイ等。次を楽しみにしていたのですが、家内の体調の関係で1時間以上の飛行機の旅は無理となり、11年前の韓国旅行を最後に海外旅行は諦めていました。

家内(74歳)は車いす生活46年、頑張り屋で、手で動かす事が出来る車の免許を取り、老人福祉相談員、車いす友の会会長、小中学校の福祉講話等で努力しています。しかしながら私生活はヘルパーさんでは対応が難しく、私が手伝わないとベッドから車いすへの移乗失敗などで怪我もあり、旅行も電車バスでの旅は不可能。家内と年数回、身延、羽生、越後にある墓参りを含め国内のマイカー旅行を認知症の大田区の施設にいる兄を連れて楽しんでいました。

市の広報紙を見た家内が日中交流会の訪中国(11月16～19日)に参加してみたらと突然の提案。今年10月で結婚50年を迎えますが、記念のプレゼントだから行ってきてとの言葉でした。中国は28年前に仕事で香港に行ったとき、深圳に日帰りで行きミニ中国(40分の1で作られた中国のダイジェスト版)を見、中国のスケールの大きさに驚いたことが思い

出に残り、いつか一度中国に行きたいと思っていましたが、突然の家内からのプレゼント。

出発前日に家内は内科の検査でインシュリン投与をする状態にあるとの事を私に報告せず、楽しんで来てね、近所の友人に助けてもらい頑張るからとの事で、前日タクシーを予約。ところがタクシー会社の早朝依頼はすべて駄目。市の担当に相談しても無理。リムジン乗り場まで徒歩で約40分を覚悟。それでも思い近くの友人に相談すると個人タクシーが近くにあるとの事で電話。個人タクシーの快諾を得て今回の旅に心残りなく出発することが出来ました。

歴史のある日中交流協会の旅でも楽しい旅が出来たこと、参加された団員の気持ちの良い楽しい、思いやりのある仲間に出逢い、無錫の酒工場の丁寧なおもてなし、少年宮での絵画体験、書道体験。私は絵も書も下手ですが、絵は係の人に手を加えていただき、宝物になりました。

昔、香港、深圳に行ったとき手に入れた「姑蘇城外寒山寺」の漢詩入り墨絵が私の家に在りますが、今回の旅では小雨のなか船中から身を乗り出して西湖の風景を満喫し、墨絵の雰囲気味わうことが出来、蘇州の太湖で張継が読んだ詩の雰囲気判る様な気がしました。

案内役の張さん。龍頭渚公園にある無錫旅情の石碑の前で張さんのリードで全員で合唱。張さんの歌の上手い事、仕事とはいえ、とても熱心で気持ちのいい人にガイドをして頂き、酒の好きな私は張さんとゆづり飲んでみたい雰囲気のある人でした。

帰宅後、家内が内科の検査結果(インシュリン投与が必要)を告げ。私が不在の4日間断食状

態で、少しスマートになったでしようと思顔で言葉次の検査で血糖の(A1C)が下がるとを願って食事を野菜中心に私が管理し、8・3(6・2以下が正常値)を12月7・3にさらに三月には6・4までに下がり一安心。今も2人で正常値になるように頑張っています。

今回の旅は美味しい物を沢山頂き、電気自転車、電動バイクの多さにびっくり、中国は全土が国有地の為か、地下鉄工事や高速道路の工事の速さ、観光を意識して?のまちの変化の速さに驚愕すら感じ、日本の弱さを感じました。

陳さん(無錫市人民対外友好協会の常務副会長)との白酒(50度の飲み比べ、酒工場の女性社長とのツウショット、少年宮での体験、西湖遊覧、靈隱寺の歴史の重み、そして最終日の六和塔、楽しい思い出に残る旅でした。



風

投野幸子

風は何故つめたいの?
雨は何故つめたいの?
私は風が好き 雨も好き
つめたくても大好き
つめたい風 つめたい雨
つめたい分 暖かさがどれだけいいか
分かるからさ



*障がい者の方が書かれた詩です。
「わくわく 2019 冬号」に掲載



ボランティアさん募集！

高齢者施設の日課活動ボランティア

内 容 施設レクリエーション（オセロやパズル、ゲームなど）の補助
日 時 月1回～
月・水・金の午後1時30分～午後3時の間で都合の良い時間
場 所 デイサービス幸智（中央区田名 1207-1）

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042（759）7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042（786）6181



相模原市民若葉まつりに参加しませんか？（募集継続）

ボランティア募集

内 容：パレード参加・福祉ゾーンバザーやボラ協
コーナー模擬店の運営のお手伝い
各ブースの準備や片付けのお手伝いや声
かけなど
日 時：5月10日（金）～12日（日）
ご都合の良い日に2時間～
場 所：市役所周辺の若葉まつり会場内



バザー品募集



ご家庭で不要な物（古着以外）、ご寄付いただける手芸
品や材料などをご提供いただけませんか？

収集期間：5月10日まで

問い合わせ持ち込み時間：10時～15時

※連休中（4/28～5/6まで）を除く

あじさい連絡所への持ち込みが無理な方はご連絡いた
だければ、日時を調整しお伺いいたします。

連絡・問い合わせ先 相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042（759）7982

毎年のことながら私の中では4月は「ピカピ
カの1年生とチューリップ」で、元気な姿に勇
気もらいます。
大きな災害の多かった平成も終わり「令和」の
年になりますが、平穏であってほしいと願っ
ば
（杉）

編集後記



《今月のイラスト
...桜の下での入園式》

1番はきめが細かいものでした
皆様の「寄付は当協会の運営に有効かつ大切
に使わせていただきます。」

《3月の寄付者ご芳名》

千装 展子 様

ながさわ たかし
長澤 壮 様

その他14名の皆様から「寄付をいた
だきました。」

《3月の寄付金》

総額 68,736円でした。